

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06274072
PUBLICATION DATE : 30-09-94

APPLICATION DATE : 24-03-93
APPLICATION NUMBER : 05087809

APPLICANT : SANREI GIKEN:KK;

INVENTOR : IWAMA KATSUMI;

INT.CL. : G03G 21/00

TITLE : CLEANING SHEET FOR PRINTING AND COPYING EQUIPMENT

ABSTRACT : PURPOSE: To provide a cleaning sheet which comes out in a state where dirt adheres to the sheet without being wound round a roll or being wrinkled only by allowing the sheet to pass through the copying and printing part of an OA equipment.

CONSTITUTION: A silicone rubber layer which is heat-resistant and cross-linked, and in which 1-5wt.% adhesive is mixed is provided at least on one surface of a heat-resistant base material; and the JISA hardness of the silicone rubber layer is 15-45°, and the silicone rubber layer is protected by a releasing film.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

掃シートを紙をセットする位置に挿入して機械内部を通
過させるのみの簡単な操作で、機械に何ら損傷を与える

ことなく、機械内部の各種ロールに付着した汚れを清掃
することができる。

【手続補正書】

【提出日】平成5年4月30日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】 本発明印刷・複写機器の洗浄シートは基
材の片面又は両面にシリコーンゴム層を設け、このシリ
コーンゴム層を離型フィルムで保護したものである。離
型紙又は離型フィルムとしてはグラシン紙やポリプロピ
レンフィルムなどの非粘着性フィルム或いは洋紙、プラ
スチックフィルム等の表面をフッ素樹脂などの剥離剤で
被覆した紙又はフィルムを使用することもできる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】 シリコーンゴムとしてはジメチルポリシ
ロキサンを主鎖とし、重合度1000以下の液状タイプ
のシリコーン樹脂が使用される。白金等の触媒はこの主
剤に混合されている。架橋触媒とジメチルポリシロキサ
ンの約1/10量の架橋剤を配合した場合、硬化後のシリ
コーンゴムのJIS A 硬度は約20度である。JIS A 硬度を調整するためには架橋剤の配合量の増
減が一般的である。また、より分子量の大きいポリシロ
キサン、或いは側鎖としてエチル基やプロピル基を導入

したポリシロキサンを配合することにより、更にはシリ
カ粉末を配合することにより、より硬度の大きいポリシ
ロキサンが得られる。JIS A 硬度の異なる2種以
上のシリコーンゴムを作製し、両者の配合比を調整する
ことにより任意の硬度のシリコーンゴムを得ることがで
きる。架橋剤としては、例えば、メチルヒドロゲンボ
リシロキサンのような活性水素を有するポリシロキサン
が用いられる。架橋触媒としては、有機白金化合物など
の白金系架橋剤が一般的であり、架橋前のシリコーンゴ
ム溶液に配合することができる。その他金、銀、パラジ
ウム等の有機貴金属化合物も使用でき、通常の過酸化物
触媒も使用可能である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正内容】

【0018】 実施例3及び4

2液型シリコーンゴムとして実施例1のXE15-A3
177と実施例2のYE-8522を重量部にして5
0:50の割合に配合して用いた以外は実施例1と同様
にして清掃シートを作製し、実施例3とした。また、2
液型シリコーンゴムとして、XE15-A3177とY
E-8522を重量部にして33:67の割合に配合し
て用いた以外は実施例1と同様にして清掃シートを作製
し、実施例4とした。実施例3及び実施例4について実
施例1と同様の試験を行い、表1に併記した。